

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026年 第25週（6月15日～6月21日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4人 類型 患者 1人、無症状病原体保有者 3人 血清型 O157 1人、O168 2人、不明 1人
四類感染症 E型肝炎	4人 推定感染地域 国内 4人
レジオネラ症	9人 病型 肺炎型 8人、ポンティアック熱型 1人
五類感染症 ウイルス性肝炎	1人 病型 B型
急性脳炎	1人 病原体 ライノ/エンテロウイルス
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人 血清群 A群 1人、B群 1人
後天性免疫不全症候群	2人 病型 AIDS 1人、その他 1人
侵襲性肺炎球菌感染症	2人
水痘（入院例）	1人 病型 検査診断例
梅毒	9人 病型 早期顕症Ⅰ期 4人、早期顕症Ⅱ期 3人、 無症状病原体保有者 2人
百日咳	12人 年齢階級 1-4歳 2人、5-9歳 3人、10歳代 2人、 20歳代 3人、70歳代 2人

〈麻疹の患者情報〉

麻疹（図1）は第5週以降報告が見られていたが、3週連続で報告はなかった。2026年の累計報告数は、麻疹（検査診断例）が31人、修飾麻疹（検査診断例）が9人の計40人である。

（埼玉県感染症情報センター：麻疹及び風しん流行情報（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html#mashinn>））

〈定点把握疾患の患者情報〉

手足口病（1.63*→2.89:図2-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、春日部（9.00→16.67）保健所管内で特に大きく増加した。年齢階級別では、1歳からの報告が最も多く、全体の約42%となっている。大きな流行となった2024年の同時期と比較して、1歳以下の割合が多く、3歳以上の割合は少ない。水痘（0.81→0.64:図3）の定点当たり報告数は、第20週以降やや高い水準で増減を繰り返している。ヘルパンギーナ（0.46→0.75:図4）の定点当たり報告数は前週と比較して増加した。保健所別では、春日部（0.67→2.33）保健所管内で大きく増加した。咽頭結膜熱（0.83→0.77:図5）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。新型コロナウイルス感染症（0.39→0.50:図6）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は5人（前週2人*）であった。急性呼吸器感染症（64.50*→67.36:図7）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎9人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎2人の報告があった。

*遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

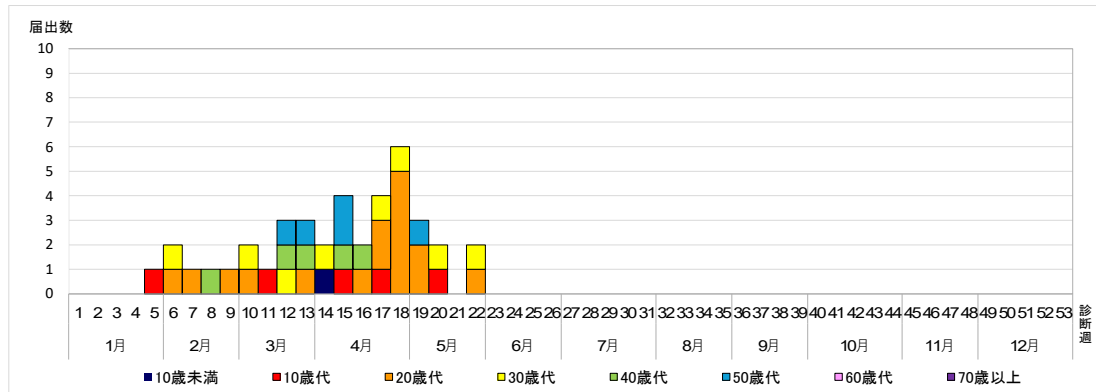
○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jihs.go.jp/>）で御覧になれます。

○麻疹については、JIHSの麻疹発生動向調査（URL：<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>）で御覧になれます。

○麻疹に関する特定感染症予防指針では、迅速な行政対応を行うためにも臨床診断を行った時点で臨床診断例としての届出を行うとともに、地方衛生研究所にてウイルス遺伝子検査等を実施するために必要な患者検体の提出を求めています。各医療機関において麻疹の臨床診断を行われた際は、検体提出の御協力をお願いいたします。なお、JIHSのホームページにて「麻疹を疑った際の対応（2026年3月）」（URL：<https://dcc.jihs.go.jp/information/pdf/mashin20260327.pdf>）が掲載されています。参考に御覧ください。

<注目すべき疾患（麻しん）>

図1 麻しんの診断週別年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

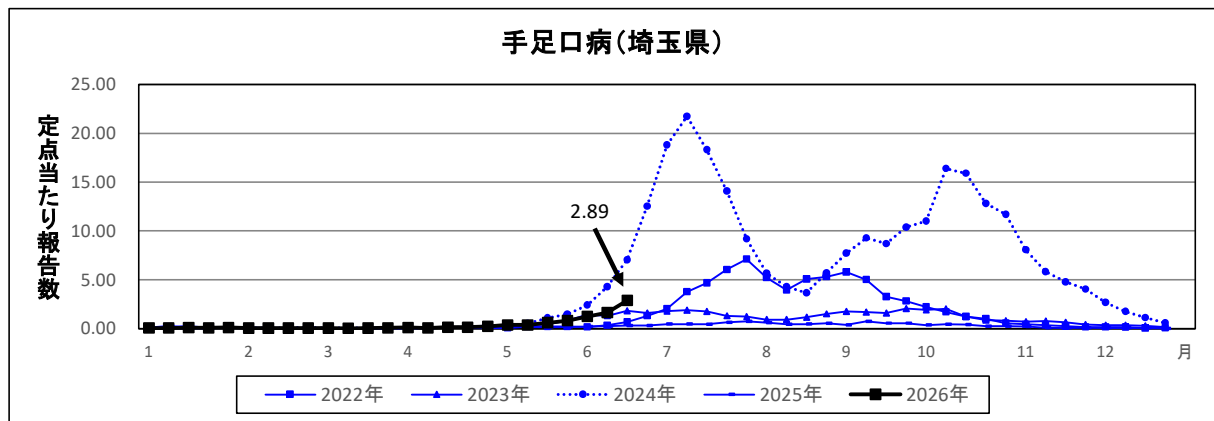


図2-2 手足口病の年齢階級別割合の比較(2024年第24~26週及び2026年第25週)

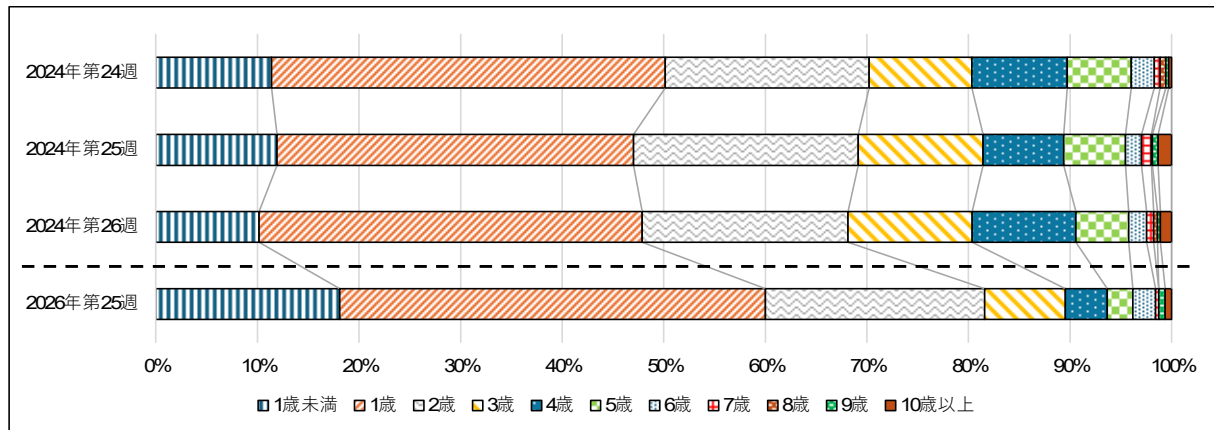


図3 水痘の定点当たり報告数の推移

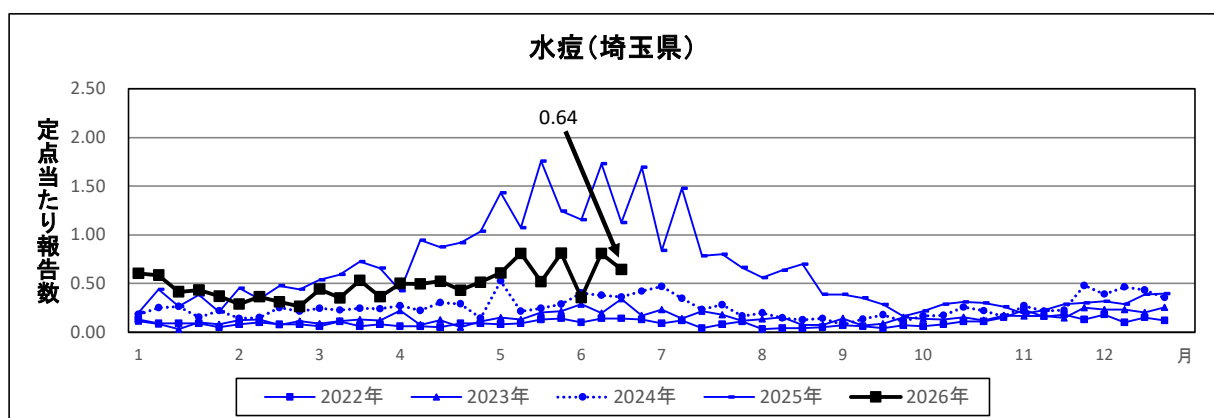


図4 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

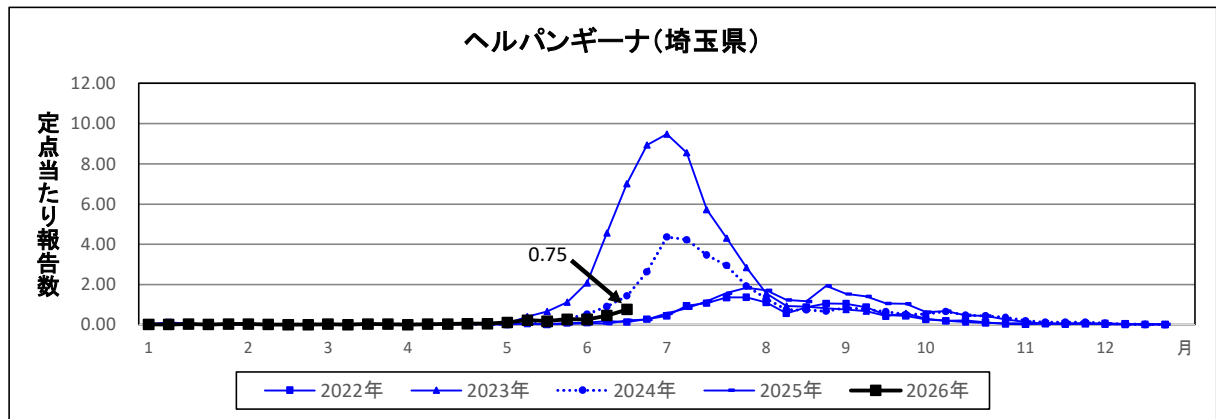


図5 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

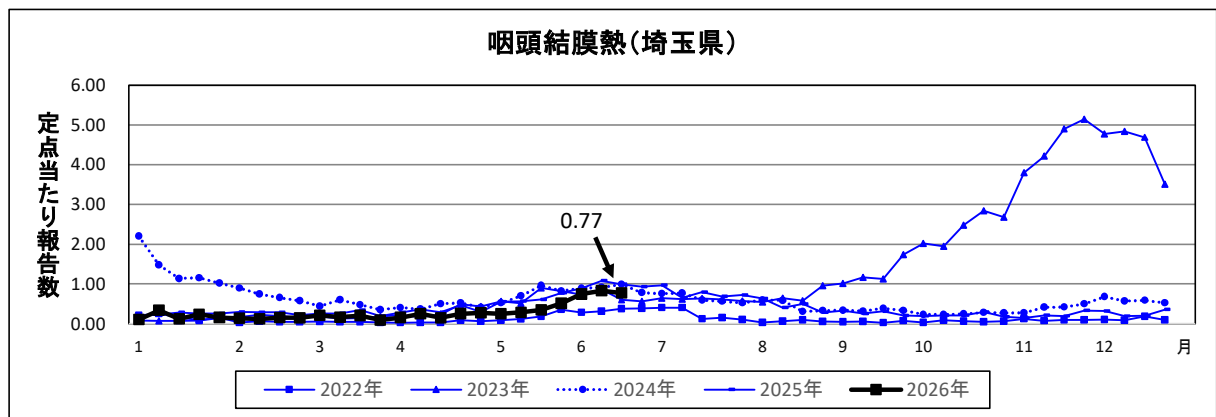


図6 新型コロナウイルスの定点当たり報告数の推移

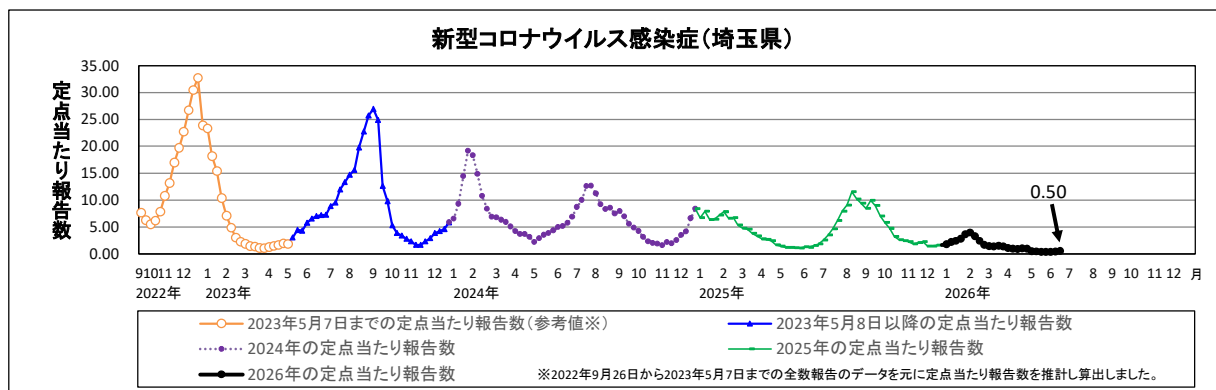
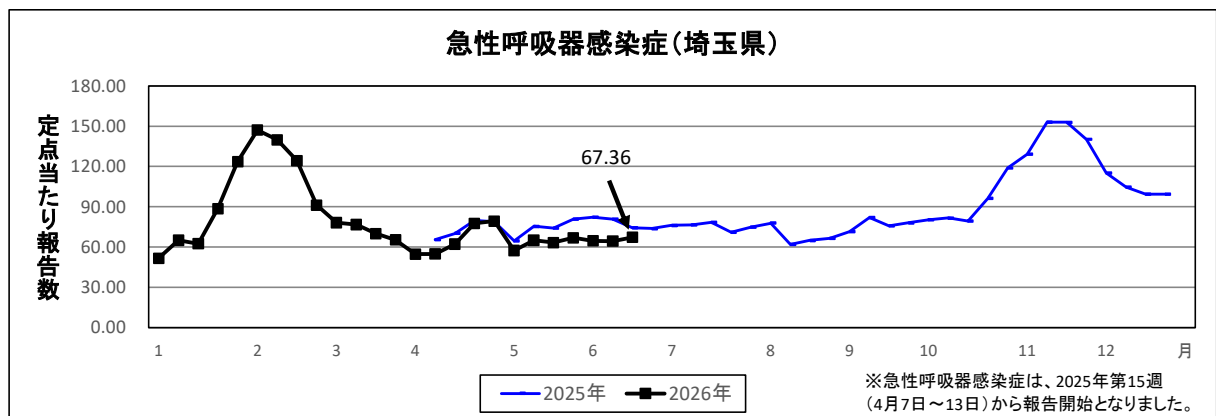


図7 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.htm>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第25週)

(2026年6月23日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 *1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	67			
四類感染症					
E型肝炎	4	42	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	9	58
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		16	水痘(入院例に限る)	1	9
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	12	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		17	多剤耐性緑膿菌感染症		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	9	251
急性脳炎	1	29	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	31	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	2	19	百日咳	12	261
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		16	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	65			

累計は診断週で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2026年第25週)

6月15日~6月21日

保健所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	13	87	11,720	26	84	344	690	70	315	4	48	82	9	-	9	-	-	2	-	-	-	5
	0.07	0.50	67.36	0.24	0.77	3.16	6.33	0.64	2.89	0.04	0.44	0.75	0.08	-	0.21	-	-	0.17	-	-	-	0.42
朝 霞	3	8	986	-	7	28	43	3	23	-	4	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	0.19	0.50	61.63	-	0.70	2.80	4.30	0.30	2.30	-	0.40	0.80	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00
鴻 巣	-	6	1,366	1	9	94	39	3	7	1	10	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	-	0.50	113.83	0.14	1.29	13.43	5.57	0.43	1.00	0.14	1.43	0.57	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	-	1	348	-	-	4	34	3	4	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	0.25	87.00	-	-	1.33	11.33	1.00	1.33	-	1.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	-	-	44	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	11.00	-	0.67	3.33	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	-	-	114	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	28.50	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	-	6	501	-	1	6	18	4	21	-	3	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	0.67	55.67	-	0.20	1.20	3.60	0.80	4.20	-	0.60	1.00	0.20	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00
加 須	-	4	91	-	1	9	1	2	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	-	0.80	18.20	-	0.33	3.00	0.33	0.67	0.33	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	2	3	811	-	4	9	37	1	50	-	2	7	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.33	0.50	135.17	-	1.33	3.00	12.33	0.33	16.67	-	0.67	2.33	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	4	10	999	8	11	28	32	7	16	-	-	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.44	1.11	111.00	1.60	2.20	5.60	6.40	1.40	3.20	-	-	0.40	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	-	-	324	-	4	2	41	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	-	-	81.00	-	1.33	0.67	13.67	-	0.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-
草 加	2	19	552	7	6	15	36	4	18	1	1	10	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	0.18	1.73	50.18	1.00	0.86	2.14	5.14	0.57	2.57	0.14	0.14	1.43	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	-	6	584	-	10	29	36	3	39	-	1	7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	-	0.46	44.92	-	1.00	2.90	3.60	0.30	3.90	-	0.10	0.70	0.10	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-
南 部	-	2	421	-	1	22	31	3	14	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	-	0.40	84.20	-	0.33	7.33	10.33	1.00	4.67	-	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川 越 市	-	-	674	-	9	13	18	4	21	1	3	7	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	-	-	74.89	-	1.80	2.60	3.60	0.80	4.20	0.20	0.60	1.40	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	-	1	603	1	1	2	32	4	22	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	0.13	75.38	0.20	0.20	0.40	6.40	0.80	4.40	-	0.60	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	-	13	913	3	-	18	144	7	27	-	5	9	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	0.93	65.21	0.38	-	2.25	18.00	0.88	3.38	-	0.63	1.13	0.38	-	0.25	-	-	-	-	-	-	1.00
さいたま市	2	8	2,389	6	18	55	148	22	50	1	8	17	1	-	4	-	-	-	-	-	-	1
	0.05	0.20	58.27	0.23	0.69	2.12	5.69	0.85	1.92	0.04	0.31	0.65	0.04	-	0.44	-	-	-	-	-	-	1.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別										(2026年第25週 6月15日～6月21日)										
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	13	-	-	1	1	-	-	1	1	-	1	-	-	1	2	-	2	1	-	-	2
新型コロナウイルス感染症	87	-	-	3	3	6	2	3	2	2	10	3	27	3	1	6	8	3	2	3	-
	合計	0歳	1-4	5-9					10-14					15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	11,720	913	4,996	2,465					969					365	366	393	348	327	240	180	158
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	26	2	10	5	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	84	-	10	39	12	8	6	5	1	-	1	1	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	344	-	-	11	18	40	37	37	40	34	26	16	44	7	34						
感染性胃腸炎	690	6	64	96	77	54	56	57	50	43	41	28	92	10	16						
水痘	70	-	2	5	4	2	2	4	6	11	11	11	10	1	1						
手足口病	315	6	51	132	68	25	13	8	7	1	-	2	2	-	-						
伝染性紅斑	4	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-						
突発性発しん	48	-	11	25	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	82	2	12	29	14	10	3	3	3	-	1	2	2	-	1						
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	1	2	1	1	1	1	1	1	-	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	2	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	5	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第23週 (6月1日～6月7日)

令和8年6月24日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患 (報告定点数: 3,742): インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(1.13)、沖縄県(0.80)、茨城県(0.12)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と同値であった。都道府県別では8都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(5例)、10代(1例)、30代(1例)、70代(1例)、80歳以上(3例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.11)、鹿児島県(2.05)、熊本県(1.58)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は91例と前週と比較して減少した。都道府県別では30都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(11例)、1～9歳(24例)、10代(5例)、30代(3例)、50代(7例)、60代(5例)、70代(8例)、80歳以上(28例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数: 3,733)定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(65.03)、群馬県(64.91)、岩手県(64.10)である。

小児科定点報告疾患(主なもの) (報告定点数: 2,261): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.94)、沖縄県(1.58)、鹿児島県(1.32)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(1.36)、鹿児島県(1.32)、福岡県(1.21)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(5.29)、鳥取県(5.21)、山形県(4.88)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は石川県(9.75)、奈良県(8.96)、愛媛県(8.24)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.46)、大分県(0.83)、佐賀県(0.75)である。手足口病の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(11.35)、大分県(9.31)、熊本県(9.09)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.35)、愛媛県(0.29)、佐賀県(0.25)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(2.33)、熊本県(2.26)、鹿児島県(1.87)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.15)、長野県(0.11)、京都府(0.10)、愛媛県(0.10)である。

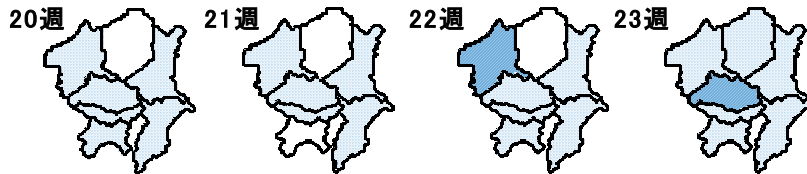
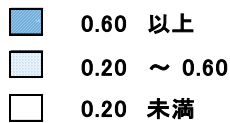
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山口県(0.67)、高知県(0.63)、埼玉県(0.58)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。10都道府県から17例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(4例)、5～9歳(8例)、10代(4例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第23週(6月1日～6月7日): 通巻第28巻第23号 より

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、埼玉県(0.75)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



		2026年 23週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	239	59	8	-	1	9	10	14	17
	定点当たり	0.06	0.05	0.12	-	0.02	0.05	0.06	0.03	0.07
新型コロナウイルス感染症	報告数	1,589	308	32	7	21	53	103	66	26
	定点当たり	0.42	0.26	0.47	0.15	0.47	0.30	0.57	0.16	0.11
急性呼吸器感染症	報告数	169,196	62,120	3,350	2,797	2,921	11,315	9,190	18,943	13,604
	定点当たり	45.32	52.82	49.26	59.51	64.91	65.03	51.06	45.21	55.98
RSウイルス感染症	報告数	682	119	6	1	-	18	21	33	40
	定点当たり	0.30	0.17	0.16	0.04	-	0.16	0.19	0.13	0.28
咽頭結膜熱	報告数	1,403	352	21	6	10	82	48	128	57
	定点当たり	0.62	0.49	0.55	0.22	0.40	0.75	0.44	0.48	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,825	1,613	170	89	92	327	271	378	286
	定点当たり	2.58	2.25	4.47	3.30	3.68	2.97	2.49	1.43	1.99
感染性胃腸炎	報告数	11,033	3,417	158	95	178	593	397	1,352	644
	定点当たり	4.88	4.77	4.16	3.52	7.12	5.39	3.64	5.12	4.47
水痘	報告数	823	237	17	9	3	39	39	71	59
	定点当たり	0.36	0.33	0.45	0.33	0.12	0.35	0.36	0.27	0.41
手足口病	報告数	4,485	827	21	5	7	137	227	291	139
	定点当たり	1.98	1.15	0.55	0.19	0.28	1.25	2.08	1.10	0.97
伝染性紅斑	報告数	147	38	2	-	2	5	17	10	2
	定点当たり	0.07	0.05	0.05	-	0.08	0.05	0.16	0.04	0.01
突発性発しん	報告数	839	280	11	13	17	57	23	104	55
	定点当たり	0.37	0.39	0.29	0.48	0.68	0.52	0.21	0.39	0.38
ヘルパンギーナ	報告数	975	198	5	1	6	28	46	80	32
	定点当たり	0.43	0.28	0.13	0.04	0.24	0.25	0.42	0.30	0.22
流行性耳下腺炎	報告数	88	32	1	2	1	5	3	7	13
	定点当たり	0.04	0.04	0.03	0.07	0.04	0.05	0.03	0.03	0.09
急性出血性結膜炎	報告数	9	2	-	1	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.08	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	331	103	18	6	1	19	7	18	34
	定点当たり	0.48	0.50	1.06	0.50	0.10	0.44	0.21	0.46	0.67
細菌性髄膜炎 #2	報告数	14	4	-	1	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	0.14	-	-	0.11	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	19	7	-	1	-	1	1	3	1
	定点当たり	0.04	0.08	-	0.14	-	0.08	0.11	0.12	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	97	20	3	-	3	7	2	4	1
	定点当たり	0.20	0.23	0.23	-	0.33	0.58	0.22	0.16	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	0.17	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	17	3	-	2	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.04	0.03	-	0.29	-	-	-	-	0.08

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

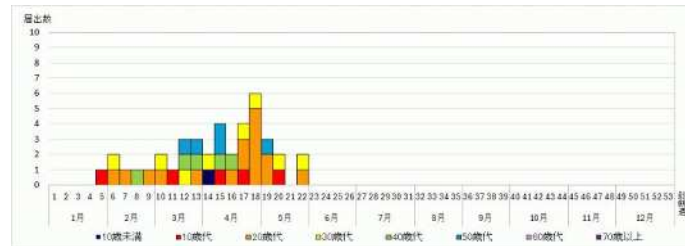
- 感染症発生動向調査 2026年**
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第24週](#)

感染症の流行状況 2026年 第25週

2026年第25週（6月15日～6月21日）の要点

全数把握対象疾患（麻しん）

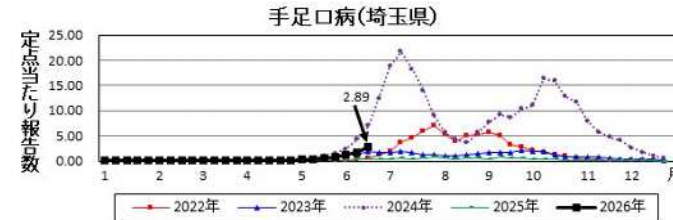
2026年第5週以降、麻しん患者の報告が見られていましたが、3週連続で報告はありませんでした。麻しんを疑う症状（発熱、咳、鼻水、発しん等）がある場合は、必ず医療機関に連絡の上、受診していただくようお願いいたします。



定点把握対象疾患（手足口病）

定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加しました。

感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	↑	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が増えとなりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。